



楽しかった春の遠足

雨で延期となった春の遠足でしたが、天気にも恵まれて6月2日(金)に実施することができました。

この遠足を通して、6年生には最上級生としての自覚が、5年生には高学年としての想いがそれぞれ芽生えたようでした。また、1年生から4年生には、みんなでゴールを目指す大変さと到着したときのうれしさを感じてもらえたようでした。

ところで、汐入小学校の伝統として学年に囚われずに子どもたちはともに過ごしています。今回の遠足に向けた取り組みが進むなかで、学年関係なく遊んでいる場面を目にすることがより多くなってきました。こういった良き伝統はこれからもつなげていきたいと思えます。

この良き伝統をつなげて145年目の汐入小学校をより良くするために、今年度の学校評議員を次の方々にお願いいたしました。今後お力をお借りしていきたいと思えます。

今年度の学校評議員の皆さま

山口久子さん(元連合町内会長)

山口忠志さん(元PTA会長)

今井 孝さん(前港南地区社会福祉協議会副会長)

安島悦雄さん(元PTA会長)

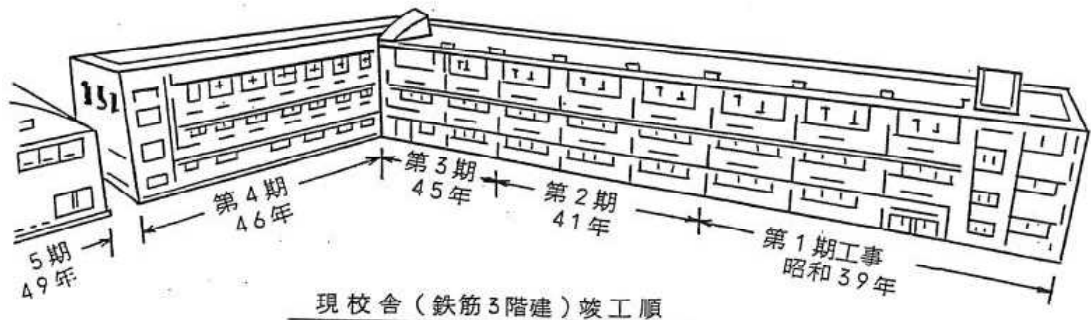
鈴木 司さん(元連合青年会長)

145周年の汐入小学校・汐入小学校の校舎

今年145周年を迎える汐入小学校ですが、現在の校舎が145年前のものというわけではありません。現在の校舎は5期に分けて建設されています。

まず、1期は、昭和39年(1964年)に完成しました。そして、2期は昭和41年(1966年)、3期は昭和45年(1970年)、4期は昭和46年(1971年)にそれぞれ完成しました。最後の5期は体育館で、昭和49年(1974年)に完成しました。詳しくは下の図をご覧ください。

ちなみに、私は、4期工事の時に小学校を卒業し、5期工事の時に高校入学というところです。自分の人生と重ねてみても汐入小学校の歴史の長さを感じます。皆さまの人生ではいかがですか。



良き伝統



6月2日（金）の春の遠足から6月3日（土）～4日（日）の汐入子之神社祭礼まで、汐っ子たちの様々な様子を見ることができました。

雨で延期となった春の遠足では、6年生を中心に、縦割り班ごとにまとまってゴールである海の公園に何事もなく到着することができました。また、海の公園での全校集会や砂の芸術づくり、お弁当タイムなどでも、まとめ役である6年生を中心に、メリハリのある活動となっていました。

遠足延期というアクシデントにもかかわらず、モチベーションを保っている6年生の姿には脱帽です。

そして、帰り道では、100人を超える子どもたちが乗っているにもかかわらず、シーサイドラインや京浜急行の車内はとても静かでした。公共施設の使い方のマナーやルールがしっかりと身につけてきている汐入の子どもたちです。



学年の自覚をもって行動する 公共のルール・マナーを守る

左のような汐入の子どもたちの良さは、学校の力だけでは育てていくことはできません。その原点を地域である子之神社の祭礼で感じました。

土・日の祭礼では、町内の皆様とともに、回らせていただきました。それぞれの場所で町内の一員としての自覚を持って、祭礼を楽しんだり、役目を果たしたりと子どもたちは笑顔で参加していました。そして、笑顔の子どもたちをバックアップしてくれている格好いい大人の方々が数多くいらっしゃいました。



まずは、町内の方々の温かいご指導に感謝いたします。おかげさまで、子どもたちに町内の一員としての自覚を持って行動する姿勢が身につけてきています。

次に、祭礼の成功に向けて、ルールやマナーを徹底していただきありがとうございます。子どもたちにとって、ルールやマナーを守る意義をもう一度知る良いきっかけとなったと思います。

最後に、祭礼後のお掃除をありがとうございました。お話を伺うと、汐入小の校庭まで見てくださったとのことでした。本当にありがとうございます。

子どもたちは大人を見て育ちます。ご家庭や地域の格好いい大人の方々が本校の子どもたちの良きの原点となっています。

汐入の町には、小学校では上級生が良き先輩として下級生を導き、地域では大人の方々が良き先輩として子どもたちを導くという良き伝統があると思います。汐入小学校の教職員も、子どもがマネをしたくなるような格好いい大人を目指します。

子どもたちのより良い育ちに向けて、これからもよろしくお願ひします。



祭礼翌日、塵一つない学校前

